

参加した理由を分析して、より多くの人に参加につなげる。→行政が。

積極的に参加する人だけの意見で進めないようにバランス感覚も必要。

団体に入りにくい。

きめ細かな情報提供をする（団体に入りたい人）。

個人でも参加しやすい受け皿を企画する。

時間がなくて会への参加ができない。仕事で、子育てで、介護で。

集まりやすい時間設定をする。

インターネットなどで参加できるようにする。

子育て世代や介護している人が参加できるように環境を整える（託児所、デイサービスなど）。

あまり大げさな事はしたくない。

ツイッター（つぶやき）程度で意見を言える環境をつくる。

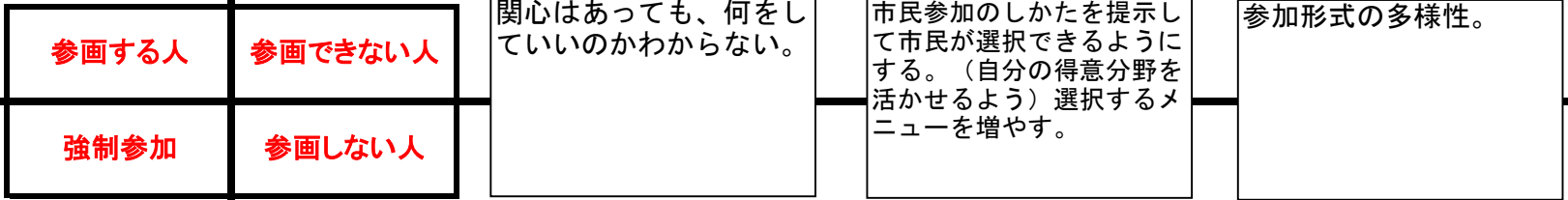
・情報提供  
・環境整備  
・雰囲気づくり

情報提供が不足している。

行政側の情報提供の手段・方法が不十分。

ネットが使えない。

目安箱の設置。



・教育  
・市民意識

子どもを対象として体験型のイベントを通して行政への関わり方への意識付けをする。

地域や団体の代表でどうしても参加しなければならないが、できれば参加したくない。

参加が面倒。

教育 子どもを対象として体験型のイベントを通して行政への関わり方への意識付けをする。

ボランティアなど身近なところから市政への関心を高めてもらう（入口を広くする）。

・教育  
・市民意識

地域への愛着、連帯感、歴史伝統への関心を高める。

興味がない。

市民の意識が低い。市民の意識を高めるには？

参加した証（成果）が必ず残るようにする。

市民と行政との接点を増やす（距離を縮める）。

参加した証（成果）が必ず残るようにする。

参加したくない。←意見を出しても回答がないので反映されたのか分からない。

参加できる雰囲気をつくる。

市民意識 地域への愛着、連帯感、歴史伝統への関心を高める。

市民の意識を高める。

原因を追求する。アンケート調査などで。